

令和4年3月15日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

文教福祉常任委員会委員長 矢板清枝

所管事務調査結果報告書

令和2年第4回6月定例会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

- 1 調査期間 令和2年6月8日から令和4年3月15日まで
- 2 構成委員 矢板清枝、興野一美、村上進一、小堀道和、渋井由放、中山五男
- 3 調査事項
 - (1) こどもの教育に関する事項
 - (2) 福祉・医療に関する事項
 - (3) 歴史・文化・スポーツに関する事項
 - (4) その他所管に属する事項
- 4 調査結果
 - ・令和2年10月20日、市学芸員の説明を受けながら、国史跡長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡、旧七合中学校及び烏山城跡の文化財の現状と管理状況の確認をした。長者ヶ平官衙遺跡の一帯は、八幡太郎義家の長者屋敷焼き討ちの伝承が語り継がれており、いまだに当時の焼米が出土している。旧七合中学校には、旧烏山町と旧南那須町の郷土資料館から運び込まれた物品が、所狭しと収蔵されており、市内小中学校の児童・生徒の見学や、貸出しをしているとのことだった。烏山城跡は足元が滑りやすく、何度も転びそうになりながら登り、その途中では、自然石をあまり加工せずに積み石として用いた野面積みが特徴の石垣が出迎えてくれた。今では木々に覆われ城があったとは思えないが、まるで木々が城を外部から守っているように感じた。今後は、文化財を保護するだけでなく、新たな活用方法について委員会でもしっかりと議論して検討していく考えである。
 - ・令和2年11月18日、烏山中学校へ出向き、授業及び校内的見学と、校長との意見交換をした。新型コロナウイルス感染症により休校した分の授業時間不足への対応をはじめ、読書活動についての質問などに丁寧に答えていただいた。教育現場の現状等

を実際に見ることで、市内中学校の状況を把握することができた。また、学校側から要望を受けるなど、とても有意義な機会となった。

- ・令和3年5月18日、委員の他、全議員にも参加を呼びかけ、にこにこ保育園をつくし幼稚園に統合・再編する新たな保育の拠点となる認定こども園の整備に係る調査のため、つくし幼稚園に出向いた。所管のこども課長以下2名の職員と共に、つくし幼稚園の施設を回り、園長から問題点を伺った。特に保育室の雨漏りや園舎内外の段差に危険が潜んでいることなどの報告を受け、現場を確認した。にこにこ保育園は荒川の浸水想定区域内に建ち、令和元年東日本台風では付近の荒川が越水寸前の状態となり肝を冷やした。園児の安全確保を最優先にした認定こども園の整備に向けて考える大切な機会となった。